

お知らせ

資料提供先 岡山県政記者クラブ

令和7年度 中国地方整備局岡山県関係直轄予算概要 (河川、道路、港湾分)

岡山河川事務所

岡山国道事務所

宇野港湾事務所

問い合わせ先			
(河川関係) 岡山河川事務所	TEL	086-223-5101	(代表)
		090-7970-7891	(夜間・休日)
副 所 長	お ち 大 知	ひさのり 寿 徳	(内線204)
工務課長	にしやま 西 山	とおる 徹	(内線311)
(道路関係) 岡山国道事務所	TEL	086-214-2220	(代表)
		080-6317-3768	(夜間・休日)
副 所 長	たにもと 谷 本	なおひさ 尚 久	(内線204)
工務課長	きしもと 岸 本	たつひこ 達 彦	(内線411)
(港湾関係) 宇野港湾事務所	TEL	086-522-0507	(工務課)
		080-2923-3657	(夜間・休日)
副 所 長	かわしま 川 島	よしでる 剛 央	(内線630)
工務課長	わ だ 和 田	まこと 誠	(内線631)

目 次

1. 令和7年度 直轄予算総括表（河川、道路、港湾分）	1
-----------------------------	---

2. 事業箇所別説明資料

①河 川 事 業

事業推進	よしいがわ 吉井川河川改修事業	
	～吉井川 さいだいじ 西大寺地区洪水防御築堤事業～	
	（西大寺地区）	2
事業推進	あさひがわ 旭川河川改修事業	
	～旭川 うちさんげ 内山下地区堤防整備事業～	
	（内山下地区）	3
事業推進	あさひがわちゅうじょうりゅう 旭川中上流ダム再生事業	4
事業推進	（緊急対策特定区間新規指定）	
	たかはしがわ 高梁川河川改修事業	
	～高梁川 さかつ 酒津地区堤防強化・笠井堰改築事業～	
	（酒津地区）	5

②道 路 事 業

開通予定	一般国道2号 たましま 玉島・ かさおか 笠岡道路(Ⅱ期)、 かさおか 笠岡バイパス	6
開通予定	一般国道180号 そうじゃ 総社・ いちのみや 一宮バイパス	7
新規着手	一般国道30号 きょうみなみ ループ橋南交差点改良	8
事業推進	一般国道30号 ふじた 藤田電線共同溝	9

③港 湾 事 業

事業推進	みずしま 水島港国際物流ターミナル整備事業	10
------	---	----

1. 令和7年度 岡山県関係直轄予算総括表（河川、道路、港湾分）

（単位：百万円）

区 分	事 業 費		対前年度比	備 考
	令和6年度	令和7年度		
河 川 関 係	3, 5 4 2	3, 4 7 2	0. 9 8	
道 路 関 係	1 7, 8 4 6	1 6, 3 0 2	0. 9 1	
港 湾 関 係	1, 3 5 0	1, 3 5 2	1. 0 0	
合 計	2 2, 7 4 8	2 1, 1 2 6	0. 9 3	

（注）※事業費はいずれも年度当初予算額

※業務取扱費を除く。

※河川関係について、河川維持修繕費、堰堤維持費は含まない。

※道路関係について、道路調査、維持管理・交安Ⅱ種は含まない。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

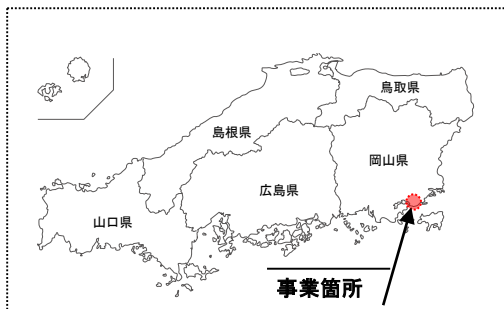
西大寺地区においては、堤防が未整備の箇所が存在しており、早期に整備を完了させる必要があります。

当該地区の浸水想定区域内には岡山市街地が広がり、ひとたび氾濫した場合には甚大な被害が発生するおそれがあります。

このため、「西大寺地区洪水防御築堤事業」として、築堤護岸及び耐震対策等を実施することで、早期に地域の安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

おかやましひがしくなおかひがし
岡山県岡山市東区金岡東地先



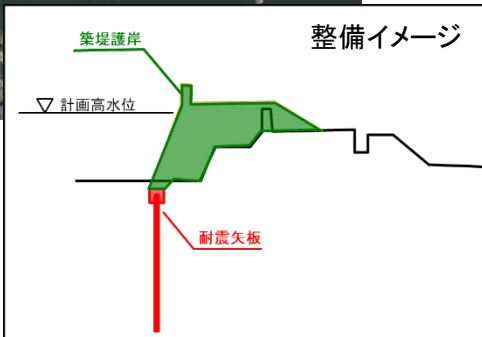
3. 令和7年度 予定事業内容

西大寺地区において、耐震対策等を実施します。



凡例

- 令和6年度まで
- 令和7年度当初
- 令和8年度以降



4. 期待される整備効果

築堤護岸及び耐震対策等を実施することで、戦後最大規模の洪水である平成10年10月洪水と同規模の洪水に対する被害の防止を図ります。

あさひがわ
旭川河川改修事業

うちさんげ

～内山下地区堤防整備事業～

事業費142百万円

※旭川水系全体

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

内山下地区は、堤防の高さが不足しているため、早期に整備を完了させる必要があります。
当該地区の浸水想定区域内には岡山城・後楽園を含む岡山市街地が広がり、ひとたび氾濫した場合には甚大な被害が発生するおそれがあります。

このため、「内山下地区堤防整備事業」として、築堤護岸等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

おかやましきたくうちさんげ

岡山県岡山市北区内山下地先



3. 令和7年度 予定事業内容

内山下地区において、築堤護岸等を実施します。



凡例

- 令和6年度まで
- 令和7年度当初
- 令和8年度以降

4. 期待される整備効果

築堤護岸等を実施することで、平成30年7月豪雨と同規模の洪水に対する被害の防止を図ります。
また、かわまちづくりによって上下流で整備済みの河川管理用通路が一連で完成し、岡山城・後楽園周辺の回遊性・親水性の向上を図ります。

事業費530百万円

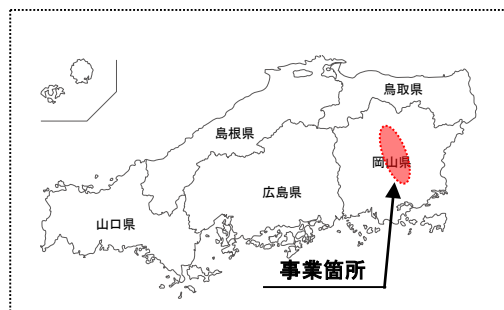
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

旭川の下流部は岡山平野が広がっており、岡山市街地付近には住宅地も集中しています。岡山平野は、拡散型の氾濫形態であり、ひとたび氾濫すると岡山市街地を含む広範囲に甚大な被害を及ぼす恐れがあります。旭川沿川における浸水被害の防止又は軽減を図るため、旭川ダム、湯原ダム等の既設ダムについて、洪水調節機能の向上等を図る対策を実施します。

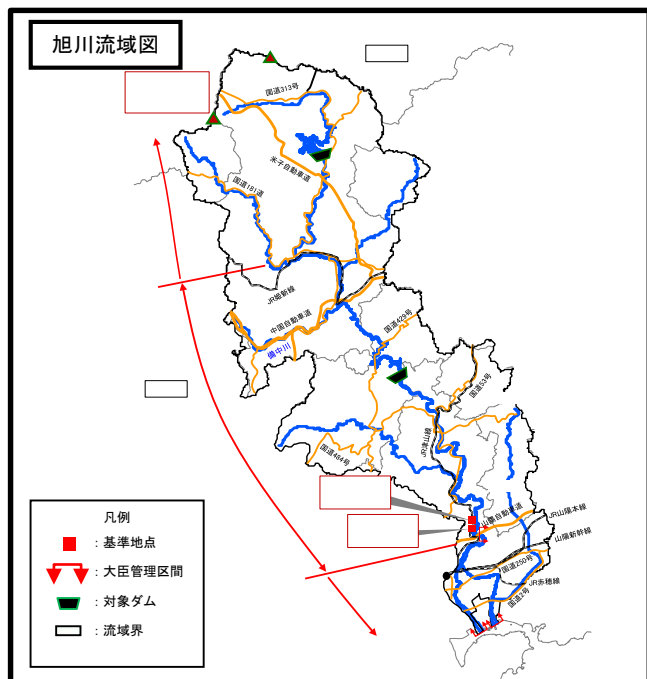
2. 事業箇所

旭川ダム : 右岸; 岡山県加賀郡吉備中央町
 : 左岸; 岡山県岡山市 (旭川水系旭川)
 湯原ダム : 岡山県真庭市 (旭川水系旭川)



3. 令和7年度 予定事業内容

環境調査、地質調査、設計検討、事業計画検討 等を実施



4. 期待される整備効果

旭川水系河川整備計画【大臣管理区間】変更(令和元年6月)の目標規模(年超過確率1/70程度)の洪水を想定した場合、浸水世帯数約30,400世帯、浸水面積約2,300haの被害が想定されますが、旭川中上流ダム再生事業により浸水世帯数約1,300世帯、浸水面積約200haに軽減されます。

～酒津地区堤防強化・笠井堰改築事業(緊急対策特定区間)～

1. 事業の必要性及び概要

事業推進(緊急対策特定区間新規指定)

高梁川水系では、明治26年10月以降、決壊による甚大な浸水被害が3度も発生しています。近年では、平成30年7月豪雨により、小田川において2箇所が決壊し、倉敷市真備町では甚大な浸水被害が発生しています。

このため、小田川合流点付替え事業に引き続き、被害ポテンシャルが高い酒津地区において「酒津地区堤防強化・笠井堰改築事業」として緊急対策特定区間に指定することにより、事業を加速化させ、堤防強化・堰改築を実施することで早期に地域の安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

岡山県倉敷市酒津地先

3. 令和7年度 予定事業内容

酒津地区において、浸透対策、侵食対策、埋蔵文化財調査を実施します。



4. 期待される整備効果

当該事業区間の完成により当該地区の弱部が解消され、一連の事業効果として背後地の約6,000haと想定される浸水リスクの軽減を図ります。

凡例

- 令和6年度まで
- 令和7年度当初
- 令和8年度以降

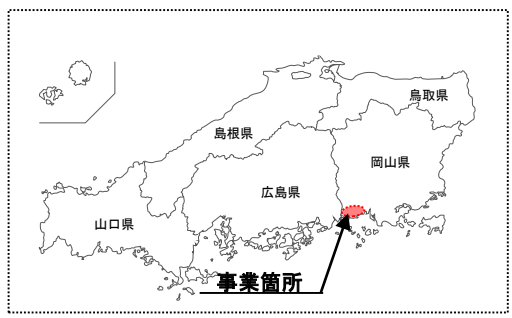
1. 事業の必要性及び概要

玉島・笠岡道路(Ⅱ期)、笠岡バイパスは、慢性的に発生する交通混雑の緩和、交通安全の確保、地域経済の発展等を目的とした延長17.0kmの自動車専用道路です。

開通予定

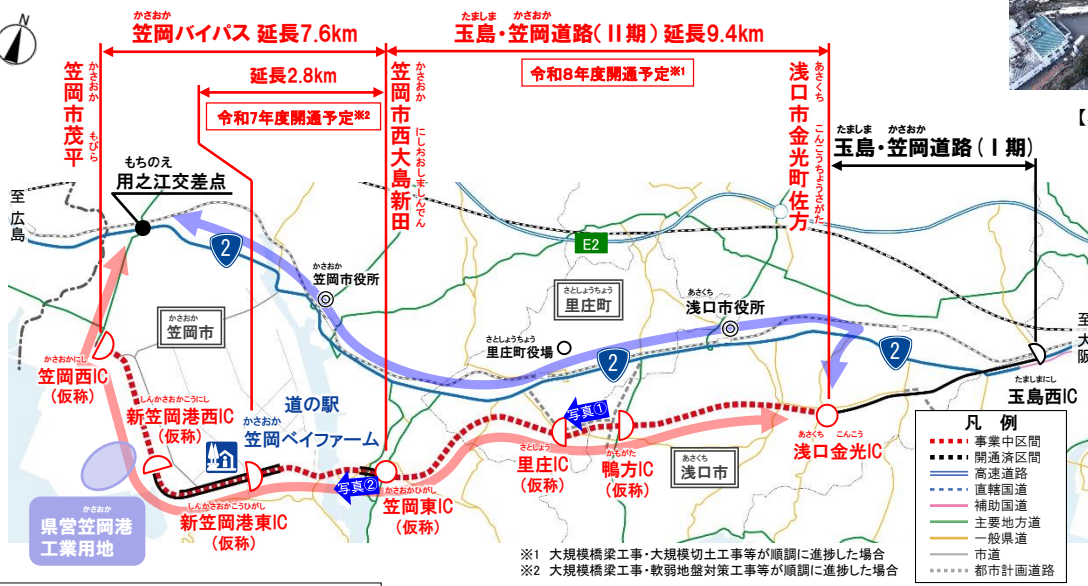
2. 事業箇所

岡山県浅口市金光町佐方～笠岡市茂平



3. 令和7年度 予定事業内容

改良工事、橋梁上部工事、舗装工事等を推進します。
そのうち、玉島・笠岡道路(Ⅱ期)は令和8年度、笠岡バイパスは笠岡東IC(仮称)から新笠岡港東IC(仮称)間の令和7年度の開通に向けて工事を推進します。



【写真①】里庄IC付近の施工状況



【写真②】神島地区の施工状況

4. 期待される整備効果

企業立地の促進を支援
玉島・笠岡道路(Ⅱ期)および笠岡バイパスの整備により、新たな道路ネットワークが構築され、物流の大動脈としてより一層機能することで、企業立地の促進が期待されます。

県営笠岡港工業用地

令和5年6月に分譲区画24区画が完売
21社が進出

写真：令和5年5月撮影

所要時間の短縮

【現状】国道2号経由
約32分

【供用後】バイパス経由
約22分
約10分短縮

所要時間：ETC2.0プロブデータ R5.9-11平日 混雑時旅行速度
注：玉島・笠岡道路(Ⅱ期)、笠岡バイパスは60km/hを使用

事業費1,248百万円

1. 事業の必要性及び概要

総社・一宮バイパスは、交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした延長15.9kmの道路です。

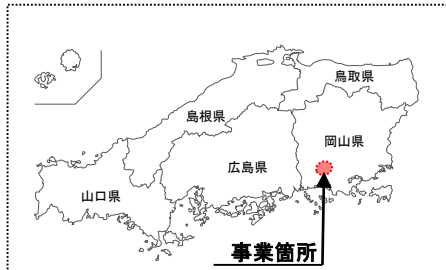
2. 事業箇所

岡山県岡山市北区櫛津～総社市井尻野

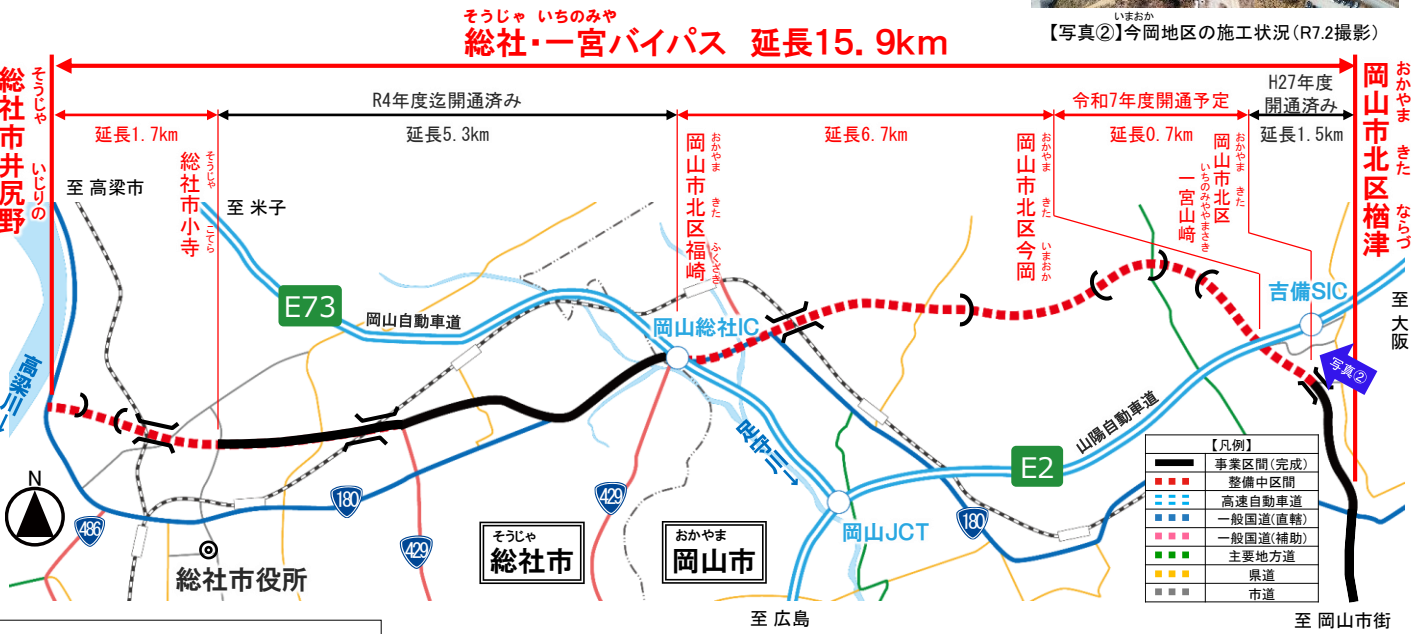
3. 令和7年度 予定事業内容

用地買収、改良工事、舗装工事等を推進します。
そのうち、岡山市北区一宮山崎～今岡間は令和7年度の開通に向け工事を推進します。

開通予定

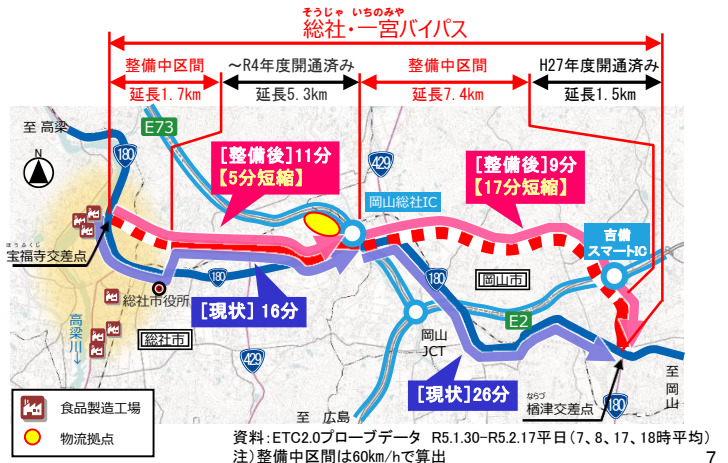


【写真②】今岡地区の施工状況（R7.2撮影）



4. 期待される整備効果

- 企業立地・雇用の促進
- 総社市は岡山自動車道岡山総社ICから山陽自動車道や瀬戸中央自動車道等へのアクセスが高いことから、食品工場や物流拠点となる大型倉庫の進出が活発です。
- 道路整備により、岡山総社ICや、岡山市街へのアクセス性が向上し、円滑な物流支援が期待できます。



一般国道30号 ループ橋南交差点改良

道-16

事業費10百万円

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、交差点形状が大きい為、車両の走行速度が高まりやすい状況となっており、左折車両と道路横断者との接触事故等が多発している状況です。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、左折導流路を廃止し、交差点のコンパクト化をすることで、車両の速度抑制を図り、事故対策を行うものです。

新規着手

2. 事業箇所

岡山市宇野

3. 令和7年度 予定事業内容

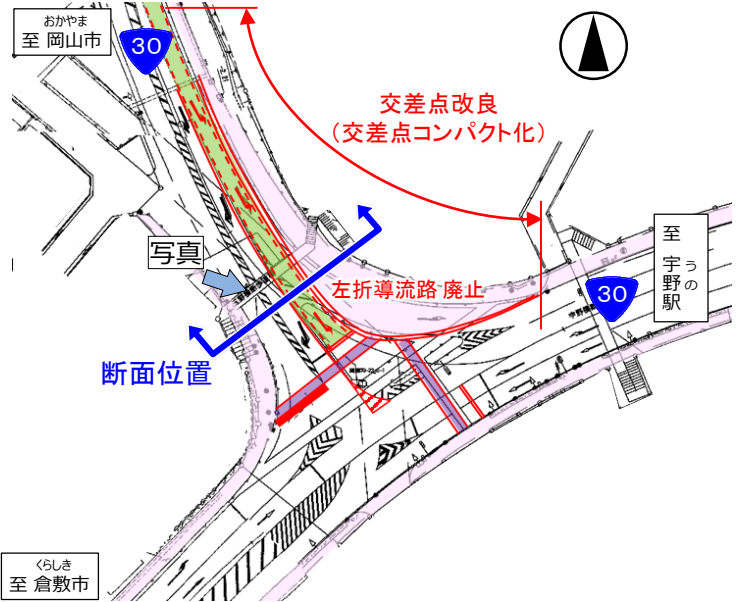
調査設計に着手します。



【位置図】



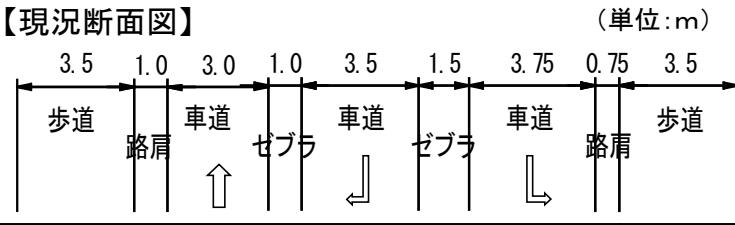
【平面図】



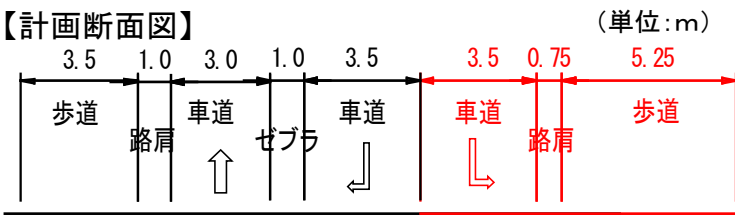
【現況写真】



【現況断面図】



【計画断面図】



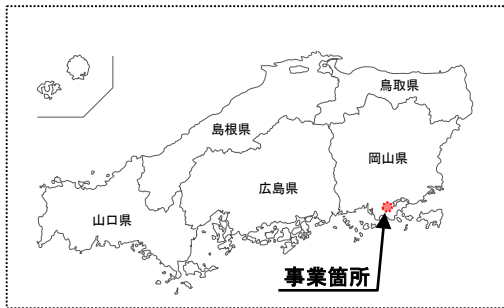
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

藤田電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに災害時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりの支援を目的とした事業です。

2. 事業箇所

岡山県岡山市南区藤田



3. 令和7年度 予定事業内容

調査設計、支障物移設、本体工事(引込連系管路工事等含む)等を推進します。

平面図



現況写真

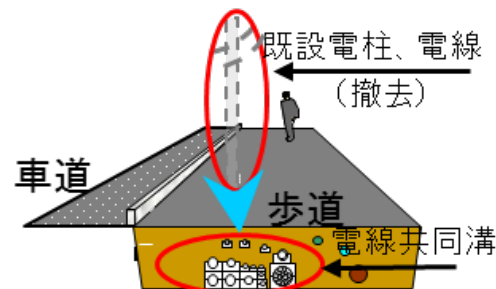


4. 期待される整備効果

《整備の必要性(イメージ写真)》

○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。

《イメージ図》



＜電柱の倒壊による道路閉塞の事例＞



＜飛来物による電柱倒壊の事例＞



＜歩行の支障となる電柱の事例＞

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

水島港は、背後に穀物取扱企業が多数立地し、食糧コンビナートを形成しており、近畿・中国・四国地方の穀物輸入拠点として、重要な役割を果たしています。

平成23年5月、水島港の国際バルク戦略港湾(穀物)の選定を契機として、新たに配合飼料製造業者や食品製造業者等が玉島地区に新工場を稼働させ、さらに水島地区にも新工場が建設中であり、穀物の大量一括輸送の実現が喫緊の課題となっています。このため、水島港水島地区及び玉島地区において、大型穀物船に対応した岸壁などの港湾施設整備を推進します。

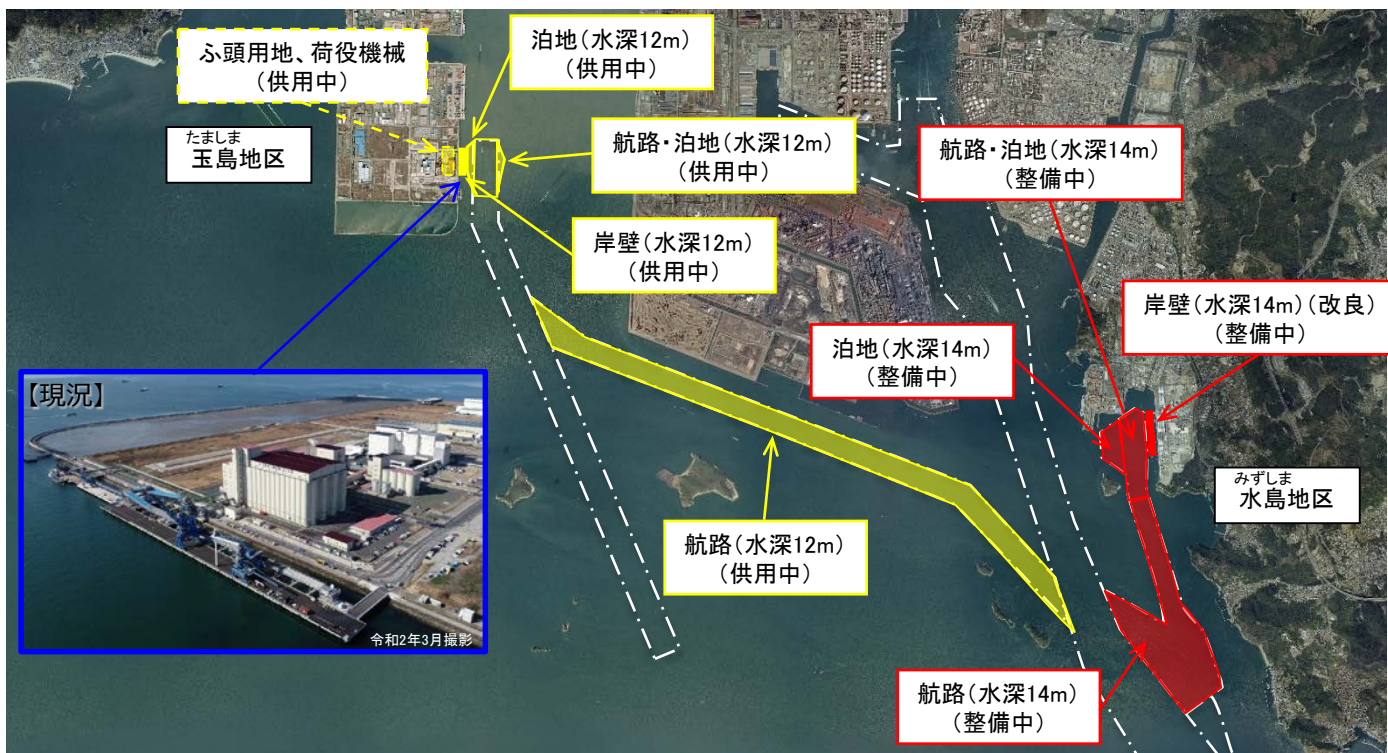
2. 事業箇所

岡山県倉敷市

3. 令和7年度 予定事業内容

みずしま

水島地区岸壁(水深14m)の仮設工事、航路、航路・泊地、泊地(水深14m)の浚渫工事等を推進します。



※ 実線は直轄事業による整備、破線は岡山県による整備を示す。

4. 期待される整備効果

本事業により、企業間連携による大型穀物船を活用した共同輸送が実現し、穀物の安定的かつ安価な輸入が可能となり、地域の畜産の競争力強化に寄与します。